

自己評価についての分析

○保育指導

基本的な生活習慣や挨拶は、子供達が日頃から身に付いていくように心掛けながら、一人ひとりと向かい合っていて関わっているため、評価が高くなったと考える。

○保護者との連携

送迎時間によっては、直接話ができるタイミングの無い場合もある。伝書鳩や電話対応では、伝え方が難しく感じるため、控えめな評価になったのではないかと考えられる。

○学級経営

相担との情報共有や他学年担任との意思疎通等を日常的に行っているため、高めの評価になっていると考えられる。今後も職員間で困った時には助け合い、協力し合うという意識を持って取り組んでいきたい。

○安全

子供が怪我をした時に、担任だけで処置の仕方を判断するのではなく、専門的な知識を持った職員に相談しながら処置や対応を行えるため、評価が上がったと考える。

○衛生管理

嘔吐処理等の際、体調の優れない子やクラス全体に対して瞬時に判断したり、対応する事が難しく感じるため、低めの評価になっていると考える。個々として、知識の習得に努めたり、職員連携することで改善できると考える。

「清掃・整理整頓」の項目についての評価が下がっているので、職員全体が協力し合い、気付けるようにしていくことで改善していきたい。

○研修

昨年の評価と変化がみられなかったが、コロナによる規制が緩和され、職員一人ひとりが様々な研修に進んで参加できていたように思う。研修で学び得たことを共有し、今後の保育や日常生活に活かしていきたい。

○その他

「清泉幼稚園の職員としての自覚と責任」は高評価となっているが、「職場での意思表示」の項目は昨年より評価が下がっている。共に働く職員同士として、自分の意思表示や報告・連絡・相談等がしやすい環境作りに努めていきたい。

○まとめ

昨年度と比較し、全体的に評価は上がっていたが、園内の清掃や職場での意思表示等、職員一人ひとりが意識することで改善されられると思われる課題が見出された。

子供達が楽しく元気に過ごせるような環境作りを心掛け、今年度の課題点を改善していけるよう職員間で協力し合っていきたい。